



事業の概要	
<p>本事業は、平成9年度に策定した漁業集落環境整備事業の基本計画に基づき、平成10年度の事業採択と同時に基本・実施計画を行いました。施設の整備は、管路施設が平成11年度、処理施設が平成12年度からそれぞれ実施し平成14年3月に完成しております。また、施設の供用は、平成14年1月21日からとなっております。</p>	
事業名	漁業集落排水事業(入道崎地区)
事業年度	平成10年度～平成13年度
処理対象人口	2,830人(うち観光人口2,000人)
処理方式	長時間ばっ気方式
日平均計画汚水	360m ³ /日
計画処理水質	BOD 20mg/ℓ SS 50mg/ℓ
全体事業費	1,152,100千円 (うち処理施設 576,000千円)
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・処理施設 管理棟 鉄筋コンクリート2階建 (地下1階) 建築面積 555.87m² 延べ床面積 661.47m² 敷地面積 3,319.5m² ・管路施設(分流式) 管路延長 L=4,445.1m マンホールポンプ 11基

漁業集落排水事業

漁業集落排水処理施設

入道崎地区



男鹿市企業局 上下水道課
 〒010-0493 秋田県男鹿市角間崎字家ノ下452
 電話 0185-46-4132



ごあいさつ

入道崎の周辺海域は、古くから沿岸漁業の好漁場として地域住民の生活と深くかかわってきました。

入道崎地区漁業集落排水事業は、漁港及び周辺水域の水質保全、快適で住みよい生活環境の創出。また、白黒模様の灯台があるなど美しい草原や断崖絶壁が連なる海岸等、観光地の環境保全に努めたいとの熱意から平成10年度事業に着手したものであります。

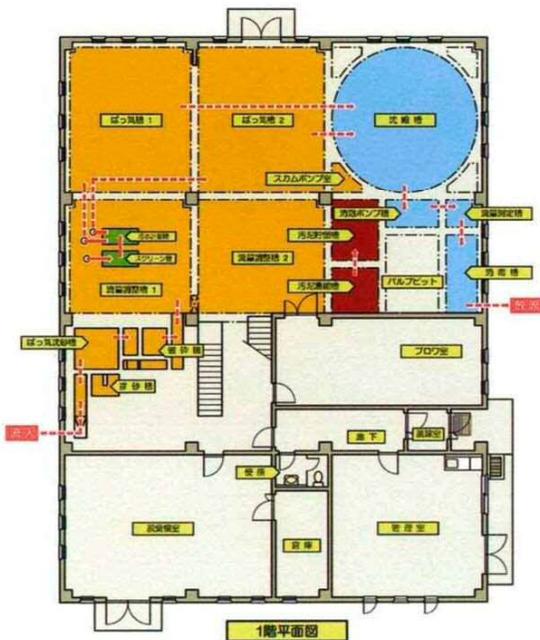
この排水処理施設は、長時間ばっ気方式で計画処理人口2830人（うち観光人口2,000人）の家庭及び観光施設のし尿と雑排水を処理する施設であり、入道崎地区の漁業及び観光産業はもとより地域の発展に寄与してくれることを念願するものであります。

最後に本事業の実施にあたり、地域住民の積極的なご協力に対し感謝申し上げますとともに、国、県並びに関係各位のご理解ご指導に対して心からお礼申し上げます。

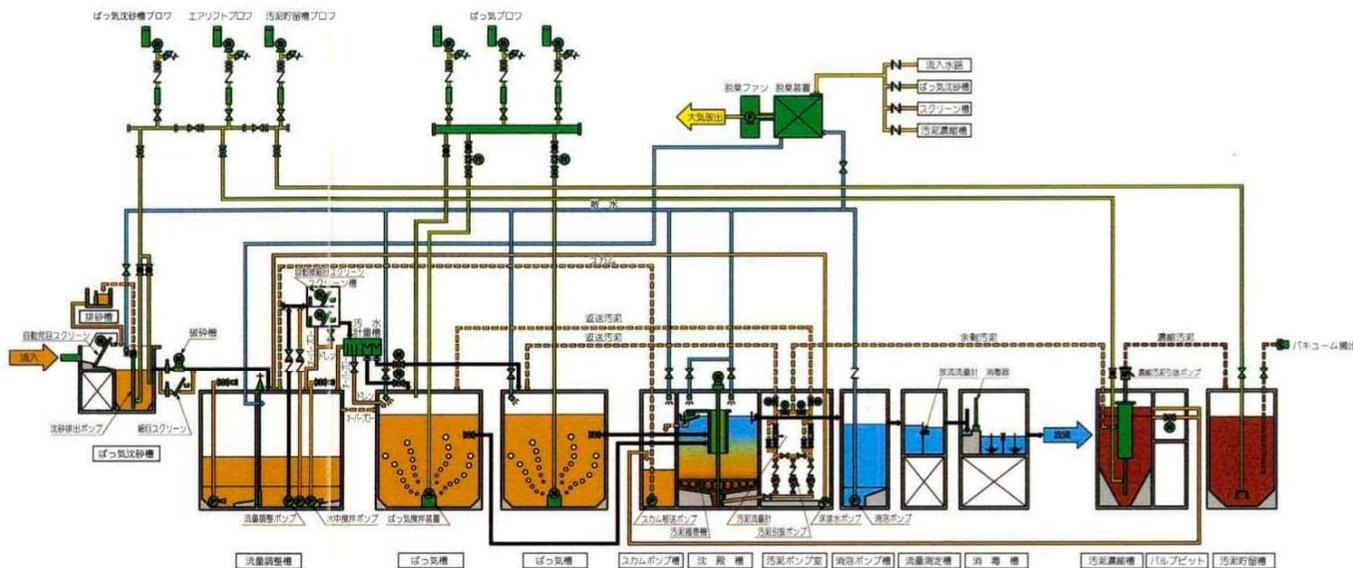
平成14年4月

男鹿市長 佐藤 一誠

排水処理施設配置図



排水処理施設フローシート



名称と機能の説明

自動荒目スクリーン	汚水中の汚物等を除去し、ポンプの破損及び後段の処理槽等の機能低下を防止します。	沈殿槽	汚水中の汚泥を沈降させて固液分離を行い、清澄な処理水を得ます。またばっ気槽の汚泥濃度を維持する為、沈殿汚泥を返送します。
ばっ気沈砂槽	汚水中の土砂類を除去します。	消泡ポンプ槽	ばっ気槽のスカム除去や消泡等の為、散水用の処理水を一時貯留します。
破砕機	汚水中の固形物等を破砕し、処理の安定化を図ります。	消毒槽	処理水の消毒の為に、塩素を定量注入します。
流量調整槽	汚水を一時貯留し、流量及び水質の変動を平準化するとともに、ばっ気槽への汚水の移送を連続的にを行います。	汚泥濃縮槽	余剰汚泥を沈殿槽から引抜き、汚泥を凝縮します。
自動微細目スクリーン	微細な夾雑物等を除去します。	汚泥貯留槽	濃縮汚泥を搬出時まで貯留します。
ばっ気槽	汚水の流入は連続的にを行います。また、攪拌とばっ気攪拌を交互に行い、嫌気状態と好気状態を繰り返すことによって、有機物と窒素を効果的に除去します。	脱臭装置	微生物により臭気成分を分解し悪臭を防止します。



●管理操作盤室



●水槽管理室



●ばっ気ブロワ室